

本校卒業式の記事が『福島民友』に掲載されました！

『福島民友』3月14日（土）朝刊 【郡山版】

2020年(令和2年)3月14日(土曜日)



熊坂校長から卒業証書を受ける卒業生④＝富田中

希望を胸に卒業式

富田中 「経験を新生活に生かす」

郡山市の公立中学校など28校で13日、卒業式が行われた。新型コロナウイルスの影響を受け、出席者の制限や時間短縮など異例の式となったが、卒業生が希望を胸に慣れ親しんだ学びやを巣立った。

このうち、富田中では213人が卒業した。消毒液を設置したほか、椅子の間隔を空け出席者間のスペースを確保して実施。熊坂洋校長が「さまざまな活動の原動力となった卒業生を誇りに思う」と式辞を述べた。在校生代表の「瓶柚乃さん（2年）が送る言葉、卒

思い出の学びやに別れ

二瀬中閉校式 73年の歴史に幕

今月末で73年の歴史に幕を閉じる郡山市の二瀬中を13日、閉校式が行われた。生徒や保護者らが思い出の詰まった学びやとの別れを

品川萬里市長が「二瀬中の築いた歴史を地域の皆さんに継承していただきたい」と式辞、芳賀実校長が



タイムカプセルを前に記念撮影する生徒

業生代表の今野虹典さんが「新生活に生かしていく」と別れを告げる。この言葉が、卒業生に新たな希望を届けた。

感染防止「寂しい」門出

新型コロナ 小学入学は震災、再び簡略化



マスクを着け会場に入場する卒業生=13日、須賀川二中

感染防止のため、多くの学校で出席者を限定。各校では式場にアルコール消毒液を設置したり、椅子の間隔を空けて出席者間のスペースを確保したりする対応が見られた。

須賀川市で最も多い211人が卒業を迎えた須賀川二中は、所要時間や規模を例年のおおむね半分に縮小。卒業証書を一人一人に手渡す時間の確保や感染防止の観点から、卒業生の小川巧真さん(15)は「一方で、短時間でも開催できてよかった。先生方や保護者に感謝したい」と話した。

郡山市の富田中で卒業生代表として別れの言葉を述べた今野虹典さん(3年)

異例の県内中学校卒業式

県内の公立中学校で13日、卒業式が行われた。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、在校生や来賓が出席しないなど規模が縮小された。卒業生は2011(平成23)年4月の小学校入学式が震災で簡略化された学年。義務教育の節目が再び異例の形となった。

は「式自体ができるのか不安もあったが、卒業生が一堂に会って卒業証書を受け取る機会を与えていたと思う」と感謝。「特別な日々の中で、日常に感謝することの大切さなどを改めて考えさせられた」と前向きに語った。

浪江町に2018(平成30)年4月に開校したなみえ創成中の卒業生は、渡部



パソコンで卒業式の映像を視聴する大東さん

者向けに無償提供されているビデオ会議システムを活用した。

自宅のパソコンで視聴した1年生の大東洸人さん(13)は「本当は式に出て部活の先輩たちに『ありがとう』と一言も言いたかった。でも先輩たちの姿

雅晴さんのただ一人。初の卒業式には在校生や地域住民も出席予定だったが、やりやめとなり、教職員や保護者が唯一の卒業生の門出を祝った。

渡部さんは「在校生が出席できないのは残念だ。でも、在校生や地域の人たちからの温かいビデオメッセージが紹介されてうれしかった」と話した。

晴れの姿ライブ配信

猪苗代中 在校生、家族向け

猪苗代町の猪苗代中は、卒業式の様子をインターネットを通じて在校生や卒業生の家族向けにライブ配信した。期間限定で教育関係

黒板アートプレゼント

小原田中、先生が制作した黒板アートを制作したのは3学年の学年主任で美術教諭の石井倫明さん(58)。

4枚のペニヤ板をつなげて黒板の塗料を塗り、笑顔やポーズを取る卒業生と教員合わせて99人の姿を描いた。終業後、自宅へ10日間以上かけて制作した。

今年の卒業生は、新型コロナウイルスの影響で学校が休校になって友達との